

JA 総合営農研究会

第 53 回公開研究会

JA 営農経済事業 改革の新戦略をさぐる

2019 年

11 月 8 日(金) 13:00~18:00

会場 JAビル 32 階 3202・3203 会議室

11 月 9 日(土) 9:00~12:00

会場 JAビル 27 階大会議室

営農経済事業の収支均衡を核とした JA の新しい事業戦略はいかにあるべきか

営農経済事業の改革を通じた新時代の農協づくりを

営農経済事業の改革・革新と収支改善は、農協の自主改革の中心的な課題であり、同時に、農業・農村・食をめぐる経済・社会の諸環境が大きく変化するなか、緊喫の課題でもある。

とくに、金融の大幅緩和、低金利（マイナス金利）および高齢化のもと、現在、メガバンクや第一・第二地銀では金融事業の収益が悪化し、一部の銀行では金融事業での収益確保が困難になっている。そのため、各銀行では大規模な合理化と再編が進展している。JAバンクにおいても例外ではない。以上の状況を反映して、農林中金からのJAへの配当利率が低下することになった。

ところで営農経済事業改革は、収支改善のために事業の「リストラ」のみに終始するならば、JAの存在そのものの否定につながる。営農経済事業改革を通じて、従来の事業システムから新たなシステムへの変革が求められている。

営農経済事業改革は、本研究会の目的である。設立以来、様々な切り口から追求し、参加JAでは確実に改革を実現してきた。例えば、生産者手取り最優先を実現する事業システム、販売を軸とする営農経済事業、生産者と消費者から選択されるJAづくり等である。現在、各JAでの改革の蓄積を踏まえ、様々な取り組みがはじまり、成果を上げている。

今回の公開研究会は、営農経済事業の収支均衡を核としたJAの新しい事業戦略はいかにあるべきか、各JAの地域的な特殊性も踏まえた報告と議論により、今後の農業協同組合のあり方を追求し、共通理解を深めることを目的としている。報告する4JAは、米産地、中山間地、園芸産地、大規模複合産地とそれぞれ特徴があり、営農経済事業の先進的な改革を実践している。営農経済事業の現状および実践経過や達成状況、取り組むうえでの障害などについて具体的な報告をいただく。また、報告に基づく議論では、営農経済事業改革の方向と課題について、参加者が共有できることを期待する。

発表者のご紹介

▶ 新戦略への問題提起

JA総合営農研究会副代表委員 黒澤賢治

JA営農経済事業の収支均衡に向けては、販売手数料の見直しや予約購入などの議論と取り組みが避けて通れない。組合員の合意形成と協同活動を基礎に総合的な地域営農システムづくりを実践してきたJA甘楽富岡の経験を踏まえ問題提起

▶ 米産地より～岩手・JAいわて花巻

県産米の4割を集める一大米産地。JA外出荷の法人も含めた利用組合を4法人立ち上げ、施設建築も含め自主財源で共乾施設を運営（自主運営方式）

▶ 園芸産地より～茨城・JA岩井

ネギやレタスを主力とする有数の露地野菜産地のJA。園芸部会の結束力を土台に強力な営農指導を展開

▶ 中山間地域より～長野・JA中野市

ブドウとキノコの代表的な産地。農業生産こそJAの基盤と位置づけ、部会とともに新技術導入や販売拡大に取り組む

▶ 大規模複合産地より～福岡・JAふくおか八女

米麦大豆、イチゴ「あまおう」など施設園芸、果樹、「八女茶」とさまざまな作目をもつ。東京営業所を拠点に直販型販売に力を入れる

主催

JA 総合営農研究会

(旧 JA-IT 研究会)

事務局

- 全国農業協同組合中央会 (JA全中) 営農・くらし支援部営農担い手支援課内
- 全国農業協同組合連合会 (JA全農) 耕種総合対策部統括課内
- 一般社団法人農山漁村文化協会 (農文協) 企画政策室内

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 TEL:03-3585-5211

プログラム

1日目

11/8 (金)

会場：JAビル 32階 3202・3203会議室

- 13:00～13:10 開会挨拶
- 13:10～14:10 新戦略への問題提起
◆JA 総合営農研究会副代表委員 黒澤賢治
- 14:20～15:20 報告①中山間地域より ～長野・JA 中野市
◆常務理事 佐々木真
- 15:30～16:30 報告②園芸産地より ～茨城・JA 岩井
◆常務理事 内田芳美／営農部長 吉岡和久
- 16:40～17:40 質疑・討論
- 18:00～20:00 交流懇親会（別会場にて）

2日目

11/9 (土)

会場：JAビル 27階大会議室

- 9:00～10:00 報告③米産地より ～岩手・JA いわて花巻
◆営農部長 瀬川 公
- 10:10～11:10 報告④大規模複合産地より
～福岡・JA ふくおか八女
◆東京営業所長 大藪正則
- 11:20～11:50 質疑・討論
- 11:50～12:00 閉会挨拶

※順序や報告者等は変更になる場合があります。

参加お申し込み方法

JA総合営農研究会のホームページ上の参加申し込みフォームからお申し込みいただけます。

JA 総合営農研究会

検索



申し込み締切 2019年11月1日 (金)

※締切日を過ぎてのお申し込みは、事務局宛ご相談ください。

問い合わせ先：JA総合営農研究会

(一社) 農文協 企画政策室内 TEL: 03-3585-5211

E-mail: info@ja-it.net

JA総合営農研究会に入会し、
実践交流しませんか？

- ☆ 入会案内パンフレット（入会申込書付）がございましたので、お問い合わせ・ご請求ください。
TEL: 03-3585-5211（農文協 担当：嶋川）

★ 年会費

正会員 20,000 円

※単位農協（県 1JA については地区事業本部等）

生産法人会員 5,000 円 ※集落営農、農業生産法人

特別会員 団体 50,000 円 個人 5,000 円



JA総合営農研究会
ホームページ
ja-it.net

次回の公開研究会案内
や過去の報告内容などを
掲載しています

参加費

会員：12,000円（交流懇親会費込み）

正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は9,000円

非会員：17,000円（交流懇親会費込み）

※事前にお振り込み（振り込み先は別途お知らせします）、

または当日会場にて現金でお支払いください。

※参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自でご手配ください。

会場

JAビル 3202・3203会議室（1日目）、27階大会議室（2日目）

東京都千代田区大手町1-3-1

地下鉄「大手町」駅（地下1階にてC2b出口が直結）

東西線「竹橋」駅（4出口から徒歩3分）

JR「東京」駅（丸の内出口から徒歩15分）



※**JA総合営農研究会** JA営農経済事業の改革と地域農業の活性化に向け、全国のJA役職員が課題を共有しながら先駆的事例を双方向に学びあう実践的な研究会。2001年に「JA-IT研究会」として設立。約50のJAを正会員とし、年3回の「公開研究会」と年1回の「人材養成セミナー」などを中心に活動する。2019年6月に「JA総合営農研究会」と改称した。